

発行所 新潟県公民館連合会
 【新潟市学校町一・県庁本館社会教育課分室内】
 【電話・(新潟)(23)5511 内線626】
 【振替 新潟 4094】
 発行人 会長 吉津 勝栄
 編集人 事務局長 本田 清
 毎月1回 15日発行
 【定価 1部15円千共・年産180円】
 題字 新潟県知事 塚田 十一郎

新潟県 公民館月報

第6回関公連大会終わる



【大会第1日終了後行なわれたパーティーで顔を合わせた本県勢】

公民館の専門性に論議

決議文は文相等へ直接手交

第六回関東中信越前公民館大会が、さる九月三、四日の両日、山梨県石和町小松遊覧農場を主会場として開催された。十都県から約四百名が参加し、積み上げ方式による全国共通主題「公民館は、地域住民の、よりよい生活を築くためにどのような方法を講ずればよいか」を中心に五分科会にわたり討議をくりひろげた。最終日全休討議の結果、型どおり宣言決議(次頁掲載)を採択したが、この決議文は文部大臣をはじめ関係方面へ直接手交されることになった。

大会会場となった小松遊覧農場は、甲府駅からバスで十五分、甲府盆地南吹川の流域にひらけた一面の茶と煙の中であり、昭和三十年温泉を湧りあてたところから躍脚光をあげ、急速に発展したヘルセンターであった。大規模な施設の中に、あらゆる遊覧設備が整い、消費革命の影響の一端を端的に物語っていた。公民館のちやちや設備を足もとも及ばない、最先端をゆく設備。それが個人の資本を経営されているあたり、いろいろな考えさせられるものがあった。

本県からは七名が参加、そのうち本会飛田顧問は「新生活運動部会」の助言者として、樋口副会長は「公民館の管理・運営部会」の司会者として活躍した。他県からは埼玉県の38名をトップに平均21名が参加しており本県は最下位であった。

分科会のうち参加者の一はほとんど「管理運営部会」では、各県から持ち寄られた問題のうち、特に「職員専門性」の問題に意図が集中した。最近、公民館の類は研修センター等が都市、農村を問わず増加している。いわば、社会教育施設の分化の傾向がみられる。この中で、「公民館でしかできないこととは何か」に対する追究

第二回評議員会

決算案、負担金増額案を承認

さる8月24日中越前人会館で本年度第二回評議員会が開催された。吉津会長以下20名が出席、昭和39年度本会会計歳入歳出決算案および昭和41年度本会負担金増額案等が上程されたが、いずれも承認された。

まず昭和39年度決算案は、昭和38年度に比べ若干繰り越しが多かった結果、ようやく四五年前のレベル金によって切り抜けるといふ本会会計操作上の苦心があったため承認された。また、41年度本会負担金増額案(本紙代)を一部三円値上げし、歳入の増額をはかるといふ案に修正承認された。

目次	
昭和39年度県公連決算.....	P. 2
昭和40年度県公連役員名簿.....	P. 3
現時点における公民館の役割.....	P. 4・5
関プロ職員講習会の印象.....	P. 6
東京の空の下、社会教育を想う.....	P. 7

ことばあり

「己の欲せざる所は人に施す勿れ」
 孔子の高弟である子西が、こう尋ねた。「なにか一生行なわなければならないようなことをひと言でおぼろしく教えてくださいませんか」孔子の教えは知人説法である。

才氣煥発な子貢に答えて「それは恐(思)いやり」だろう。自分の望ましいことを、他人にしてはいけない」といった(『論語』「衛霊公」篇)。
 「温故知新」
 孔子はこういわれた。「故きを温めて、新しいことを知れば人の先生になれるのだ」(『論語』「為政篇」)。この格言はひびく知られている。しかし普通通知られているのは「故きを温めて、新しきを知る」までであり、この疏方は孔子流の疏方。つまり、これまで学んできた古典を復習して自分のものにし、新しい問題を知る、それでこそ師たりうるというのである。

また、41年度本会負担金増額案(本紙代)を一部三円値上げし、歳入の増額をはかるといふ案に修正承認された。

昭和39年度県公連決算

歳入

款 (項)	目	当初予算	予算流用額	予算現額	収入済額	予算残高
1. 負担金		1,267,800		1,267,800	1,202,205	65,595
(1) 負担金		1,267,800		1,267,800	1,202,205	65,595
	1. 一般負担金	601,800		601,800	601,800	0
	2. 特別負担金	666,000		666,000	600,405	65,595
2. 県補助金		500,000		500,000	500,000	0
(1) 県補助金		500,000		500,000	500,000	0
	1. 県補助金	500,000		500,000	500,000	0
3. 県特別補助金		200,000		200,000	200,000	0
(1) 県特別補助金		200,000		200,000	200,000	0
	1. 県特別補助金	200,000		200,000	200,000	0
4. 繰越金		11,000		11,000	12,354	◎ 1,354
(1) 繰越金		11,000		11,000	12,354	◎ 1,354
	1. 繰越金	11,000		11,000	12,354	◎ 1,354
5. 雑収入		38,000		38,000	47,972	◎ 9,972
(1) 雑収入		38,000		38,000	47,972	◎ 9,972
	1. 過年度収入完金入	5,000		5,000	10,620	◎ 5,620
	2. 資選料付取	5,000		5,000	8,055	◎ 3,055
	3. 雑	20,000		20,000	16,680	◎ 3,320
	4. 雑	8,000		8,000	12,617	◎ 4,617
	計	2,016,800		2,016,800	1,962,531	54,269

歳出

款 (項)	目	当初予算	予算流用額	予算現額	支出済額	予算残高
1. 事務費		680,000		680,000	657,840	22,160
(1) 職員給		525,000	9,840	534,840	529,795	5,045
	1. 職員手当給当金	430,000	9,840	439,840	439,840	0
	2. 諸掛	55,000		55,000	52,200	2,800
	3. 掛	40,000		40,000	37,755	2,245
(2) 旅費		20,000	△ 9,840	10,160	6,170	3,990
(3) 需要費		20,000	△ 9,840	10,160	6,170	3,990
	1. 旅費	20,000		20,000	121,875	1,375
	1. 備品費	135,000		135,000	50,000	0
	2. 消耗品費	50,000		50,000	50,000	0
	3. 通信運搬費	50,000		50,000	46,780	3,220
	4. 雑費	30,000		30,000	25,095	4,905
	5. 雑	5,000		5,000	0	5,000
2. 事業費		1,064,000		1,064,000	956,022	107,978
(1) 大会費		170,000		170,000	160,345	9,655
(2) 会議費		170,000		170,000	160,345	9,655
	1. 評議員会費	130,000		130,000	111,155	18,845
	2. 役員会費	20,000		20,000	5,240	14,760
	3. 館主	70,000		70,000	67,250	2,750
	4. 常幹	20,000		20,000	20,000	0
(3) 研修事業費		20,000		20,000	18,665	1,335
(4) 月報発行費		100,000		100,000	82,980	17,020
	1. 研修事業費	100,000		100,000	82,980	17,020
	2. 報取費	489,000		489,000	470,817	18,183
	3. 印刷費	20,000		20,000	18,480	1,520
	4. 集委費	96,000	△ 7,697	96,000	96,000	0
	5. 送諸費	300,300		292,333	277,050	15,273
	6. 集送諸費	13,300		13,000	11,670	1,390
	7. 送諸費	60,000	7,697	67,697	67,697	0
(5) 連絡費		120,000		120,000	89,695	30,305
	1. 全国大会費	50,000		50,000	35,125	14,875
	2. 中央等会議費	70,000		70,000	54,570	15,430
(6) 振興費		55,000		55,000	41,030	13,970
	1. 共催費	45,000	△ 6,030	38,970	25,000	13,970
	2. 資料費	10,000	6,030	16,030	16,030	0
3. 特別事業費		200,000		200,000	200,000	0
(1) 特別事業費		200,000		200,000	200,000	0
	1. 青少年指導者拡充研修	200,000		200,000	200,000	0
4. 負担金		67,000		67,000	67,000	0
(1) 負担金		67,000		67,000	67,000	0
	1. 負担金	67,000		67,000	67,000	0
5. 償還金		5,000		5,000	0	5,000
(1) 償還金		5,000		5,000	0	5,000
	1. 利子	5,000		5,000	0	5,000
6. 予備費		800		800	0	800
(1) 予備費		800		800	0	800
	1. 予備費	800		800	0	800
	計	2,016,800		2,016,800	1,880,862	135,938

歳入

歳出

1,962,531 - 1,880,862 = 81,669 (次年度へ繰越)

昭和40年度県公連役員名簿

下越

郡市名	役員名	評議員名	公民館名	主事会幹事名	公民館名
北新中 新五白 西燕 東岩村 佐南新	蒲田 蒲津 泉根 蒲 蒲船上 渡津 湯	花野長次郎 山田清次郎 田村松川誠 戸部荒樋神石伊鈴平池吉	中新横新五白 卷燕津朝村佐両新	神遠吉松石吉阿小佐板瀧佐松志 田藤田岡川田部田藤垣波野本水 洞利 泰政信健三五善典 光信宗友忠一次郎男郎助勇雄亘	町市町市町市町市町市町市町市町市 条田津泉根 瀬日市和田中 中新亀新五白卷燕鹿朝村佐両新

中越

郡市名	役員名	評議員名	公民館名	主事会幹事名	公民館名
南見三 加三長 新北小 南中十 刈柏	蒲附条茂古岡尾魚谷魚町羽崎	小野正二郎 佐野末五正 矢横山旭三 高橋山友三 五内矢嵐貞 山内川利兵 関矢川利兵 関斎藤林村林 斎小本小	田見三 加越長 柄広小 大中十 刈市	熊三金鶴小 近乎山和川保保堀丸 倉沢子卷林藤沢本田島坂坂田 久正恒広泰善正 雅国浩栄昭 義男夫喜男彦博一明夫夫司吉三	村委中央市村中央尾村市委町区羽市 教中 中 神谷教西市沢地区羽市 田市市茂島市 千和町市 下見三加和長柄広小大川十刈柏

上越

郡市名	役員名	評議員名	公民館名	主事会幹事名	公民館名
中高直 新東西 糸魚	頸田津井頸頸川	長飛桜内竹岩	三高山直新安	佐古矢杉 小中 藤川端野 池津 忠 甫誠 健一 治甫夫治 一郎	町谷市市町市 金津 立川 湯市江井 魚 大高直新 名糸

・入場料 当日 前売
一 〇〇円 八〇円
一 七〇円 五〇円
小中学生 五〇円 三〇円
・主催 新潟日報社、平木コ
レクション
・後援 新潟県教育委員会
新潟市・長岡市両教
育委員会

●日本美の粹

浮世絵名品展

十月十五日―十九日
・長岡展
十月六日―十二日
小林デパート
わが国の伝統芸
術を理解するうえ
に、またとない機
会で、必見の大展
覧会であります。
・新潟展

北斎、広重など超
一流の重要文化
財、重要美術品を
含む約百点の名品
を展覧いたします。

わが国の文化遺産である浮世絵は、世界美術史上でも果
然異彩を放ち、その華麗な色
彩はとくにフランス印象派に
与えた影響は大きいものだ
といわれる。
その芸術的価値は言うに及
ばず、世界に類をみない版画
技術の優秀さを誇っている。
本展は師宣、清
長、歌麿、写楽、
北斎、広重など超
一流の重要文化
財、重要美術品を
含む約百点の名品
を展覧いたします。

公民館の役割 (その3)

(次ページから読む)

県社会教育主事 島川鉄二

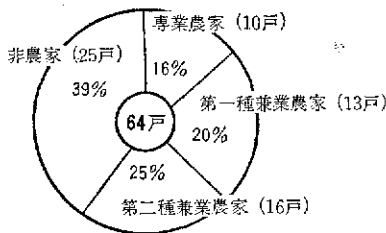
昭和40年度計画指定地域					
指定地域	基幹作物	指定地域	基幹作物	指定地域	基幹作物
東頸・安塚町	米・	栃尾市	米・養蚕・肉豚	月瀧村	米・果樹
牧村	米・肉牛	南魚・塩沢町	米・肉豚・養蚕	中之口村	米・肉豚
直江津市	米・肉豚・肉牛	刈羽・高柳町	米・肉牛・養蚕	東蒲・津川町	米・果樹
中頸・柿崎町	米・肉牛・肉豚	刈羽村	米・球根	岩船・山北村	米・肉牛・養蚕
頸城村	米	新発田市	米・牛乳・肉豚・果樹・花	村上村	米・果樹
三和村	米・乳牛・肉豚	中蒲・村松町	米・肉豚・果樹	佐渡・佐和田町	米・果樹・肉牛
三島・和島村	米・肉豚	西蒲・岩室村	米・牛乳	畑野町	米・果樹
出雲崎町	米・肉豚	弥彦村	米・そ菜	真野町	米・果樹・肉牛
三島町	米・肉豚	黒埼村	米・球根・肉豚・鶏卵		

㊦ 部落の合理的再編成の創作

① 村落社会の構造と変容

1. 基礎集団 (血縁・地縁) (コミュニティ) —— 家族・村落・都市・民族
2. 機能集団 (アソシエーション) —— 派生集団・目的集団・官製的集団

② 集落の平均 (村落と集団の分離一分化)



③ 村落の合理化 (行政区として性格純化の傾向)

1. 自治単位——部落
2. 行政単位——行政区
3. 財産単位——財産区

④ 農村コミュニティ

1. 第一のコミュニティ——小地域社会としての村落
2. 第二のコミュニティ——小学校区の範囲
3. 第三のコミュニティ——都鄙共同体 (ラーバン・コミュニティ)

⑤ 自治公民館方式の発想 (鳥取県・倉吉市)

自治公民館というのは、従来「区」とよばれていた部落・町内の組織を再編成したものである。

部落・町内の組織	公民館活動の中軸
1. 部落・町内にある班を学習の場にする	1. 学習集団化 2. 住民自治化 3. 生活共同化
2. 部落・町内を単位にして、実践の組織とする (部会)	
3. 部会を領域別の学習の場にした	

⑥ 行政単位規模の設定

1. 対象
2. 施設
3. 指導者
4. 職業
5. 集団
6. 課題等のまとめ (以下次号)

「アイデア」はひろい (一)

小黒精松

長岡市社教主事の近藤善彦氏が、公民館の学級講座の学習項目あるいは案内ボスター等のPR文意にアイデアをいかし、人々が思わず足を運びたくなるような表現をするなどで効果をあげてきたと

具体例を述べられたことに大きな関心をよせました。去る六月下越公連士衛での公民館職員研究会の際に、講師の新潟市社教課補佐の鶴巻氏が、課内の職員研修に、レクリエーションもかねてアイデアゲームのようなものを時折やっているが、考えさせられることがあると述べられ参加者に大きな反響を与えられた。

多様な地域性等が、社会教育の特色といわれ、社教活動の刷新をはかれ、壁を打ち破ろう等叫ばれているが、ささやかなアイデアであっても、これが生かされて活動の推進に役立っていることが多い眼にふれ、耳にしたアイデアの例をこれからひろっていきな。

(下越教育事務所社教主事)

現時点における

方法・技術・研究項目

(その2)の最後に公民館の新しい三つの役割りをまとめました。この三つをおしすすめてゆく方法・技術や研究項目を書いてみましょう。解説しないと意味を伝えにくいものばかりのような気もしますが、ながくなりますので項目だけにさせてもらおうことにしました。御諒承ください。

㊦公民館の役割の変遷

時期	社会教育	公民館の役割	問題点
第一期 21年 28年	未分化的 融合期	①公民館万能の時代 ②住民の茶の間 ③視聴覚教育の重視	①社会教育活動部公民館活動 ③公民館運動の時代
第二期 29年 34年	合理的 分化期	①主体 [指導者・行政・制度] ②客体 [青年・婦人・成人] ③内容 [生産・社会・文化] ④方法 [学級・講座・集会] ⑤環境 [施設・設備・資料]	①公民館設備・機能論の分かれ ②社会教育行政の貧困
第三期 35年 39年	分担的 総合期	①社会教育行政の確立 ②総合社会教育の研究 ③総合開発計画 ④長期総合教育計画	①公民館独自の事業がうるぎらいが生じた ②組織的教育活動が困難(対象の把握)
第四期 40年	創作期	(巨視的方向—マクロの動き) ①広域社会教育活動 ②部落の合理的再編成(微視的方向—ミクロの動き)	①地域開発の社会教育が課題となりつつある ②行政は分化,住民は総合

㊦広域社会教育活動の基盤

①新潟県総合開発計画

①五地域経済圏	②大規模開発拠点 ○印は新産業都市	③中小規模開発拠点 ○印は低開発工業開発地区	④自主的な町村の総合開発計画
1. 下越地区 7市・5郡	1 新潟地区 ○新産都市	3市・3町・4村 (21市町村)	1. 中条町
2. 中越地区 7市・4郡	2 長岡地区	4市・1町	2. 羽茂町
3. 上越地区 4市・3郡	3 高田・直江津地区	2市・1町・1村	3. 巻町
4. 魚沼地区 1市・3郡			
5. 佐渡地区 1市・1郡			
		①村上・中条地区 ②五泉地区 ③三条・燕地区 ④柏崎地区 ⑤糸魚川・青海地区 ⑥十日町地区 ⑦小出地区 ⑧両津地区	1市・1町・1市・2町・2市・1町・1村・2町・1市・2町・1市・

②拠点開発方式の期待

自然的社会経済的立地条件と今後の開発方向に基づいて県内を地域区分し、それぞれの地域が県経済に果たす役割に応じて、地域開発の中核となるべき開発拠点を設定し、各拠点を運輸通信施設によって有機的に連絡し、相互に影響させあうとともに、周辺に対して開発効果を拡幅して伝え、全県が連鎖反応することを期待するものである。

③構造改善事業

昭和40年度の本県の計画指定地域は26市町村が答申された。これが、正式指定されると計画地域は予定の115地域のうち73地域の指定を終わることになる。

関ブ口職員講習会の印象

八月上旬、佐渡で行なわれた関東中信越静公民館職員講習会に参加した際、県内の方々に感想文を依頼したところ意外に多数の寄稿があった。このように反響があるというのは一つの成果であると思う。紙面の都合で載せられなかったもの、文章を切りつめたものもあるが、御了承願いたい。

(編集長)

討議の時間がほしかった

栃木県真岡市公民館長 高 松 利 衛

大へん申し訳ないのですが、好かたは期は期し過ぎたが、こうあつた方がよかつたかな、という点を次に申し述べてみます。

一、時期について
八月初旬という時期ですが、これに学生が休暇と夏山シーズ

お盆前の勤め人の帰省が重なるので、乗物が非常に混雑したのが、各都県から集る人々には難儀だつたようです。また農村にある公民館は、農閑期になりまして非常勤仕事が多くなりまして、職員の出張にも苦し

支えます。従つて時期としては春か秋の閑暇期を選んだ方が、却つてよかつたかと思ひます。難儀だつたようです。また農村にある公民館は、農閑期になりまして非常勤仕事が多くなりまして、職員の出張にも苦し

羽茂町の事例に感銘

川崎公民館長 千 葉 重 雄

さてまず第一に、全体の日程については県外から参加した者のから、少し不足した感があつた。通じて県外が後援となつて、大多数の一致した意見のよかつた。特に、公民館事業の企画と運営の、その立場が研修会に反映された。多忙な連中の参加であり、あの中で、今後の公民館の進展に力なかつたことが、気がかりでもの程度の内容なら二、三二、三といつて、固まり果なり、あるいは市あり、一抹の淋しさとなつて頭に短縮されたのではなかつたか、町村などの行政の弱さ、問題が残りたことである。行政的に実施 観光を兼ねたような研修の、単に公民館の研修会であるか、その必要時間も、観光の時間も結局どちら運営の面を解決させようとする無がなにも思ふが、公民館人も半端なものにしたのではなかつたか。今後大いに反省と欲しいので、何等かの形で表明されてと思はれた。

よかつたのではなかつたか。第二は日程に無駄が多かつたのであるから止むを得ないが、県の天沢主事の述べられた内容だ。ではないかといふことだ。この点外参加者は主に船隻であつたこと、私に人口三六万人を抱える都市

けられました。一、内容について
半日間の講義が六回で、事例発表として半日だけ充てたという内容を別の角度から見れば、余りにも積極的な主張に片寄つた感があつたようです。講義は三回か四回が適当で、講義の内容を基礎とした討論や、公民館といふものの現在の時点における問題点を、もっと深く掘り下げた討議を交す時間を持つた方がよかつたかと思ひます。

また、職員とすれば、自分の勤めている公民館以外の各都県の館の状況や仕事のある方を知ることによつて、今後の活動の創意工夫の源泉にしたり、仕事

の行き詰りの打開の道を開出す

がよかつたかと思ひます。

一、全体として
宿舎が何れも夜の出勤に不適な環境にありましたので、夜の時間を余らせている方々が多いように思ひました。

佐渡ロッヂの映画の時間は有効に過せました。

公民館の運営を誇負い、どうにも

動きのこれない立場で、いささか

公民館と言つものに嫌気がさして

いたのであるが、羽茂の事例を聞

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

ヒントを得たり、あるいは自分のやつている仕事や考え方が大体的なものであるのかいなのか

ことが、研修の最も大切な中核ではないかと思ひます。

一、会場について
会場は大へんよかつたと思ひます。会場三方所の異動も、異動時間があったいなように思ひましたが、気分転換には役立つたようです。

一、全体として
宿舎が何れも夜の出勤に不適な環境にありましたので、夜の時間を余らせている方々が多いように思ひました。

佐渡ロッヂの映画の時間は有効に過せました。

公民館の運営を誇負い、どうにも

動きのこれない立場で、いささか

公民館と言つものに嫌気がさして

いたのであるが、羽茂の事例を聞

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

多忙をおして参加

今 井 信 夫

職員一人の分館で、多忙な人

月五日間もするするので、あつた。日程については、折角

いらいの愚案に替わつたが、変

動する地域社会に、公民館の活

動をさう結びつけたらよいのだ

らうと疑問を持つていた時だけ

に大きな期待をもつて参加を決

心した。五日間の講義は、それ

それ公民館活動に大きな指針

を与えてくれるものがあつた。

また佐渡羽茂町の天沢主事さん

の事例発表は、学習と実践活動

とが一体となつて、町ぐるみの

運動を盛り上げ地域開発を推進

されている事例は、参考とする

（新井市水原分館職員）

地域開発の現状と課題、館報

の編集技術、公民館事業の企画

講習会のあり方に再検討を

佐々木 勇 夫

地域開発の現状と課題、館報

の編集技術、公民館事業の企画

と運営、話し合いの進め方、社

会教育の当面する課題等を中心

に講義を受けた。特に印象に残

つたことは、公民館事業が中途

半始に行なわれており、もっと

徹底的に行なうべきではないか

という文部省の中島氏の意見、

その教育的效果について十分な

反省評価を行っているかどうか

また水杉群馬大教授の教員養成

部、社会教育の実習を入れるこ

共に学校開放を進める。以上の

（南蒲中ノ高公民館主事）

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

き、公民館活動の核心を感中にた

東京の空の下、社会教育を思う

新潟勢意気高し

仲田浩

教育大学受講生一五〇名中三八ますので頑張ってください。」との集いのレクリエーションでは名と本県は賞教共に優秀であり、激励されました。

平沼教授からは開口一番「人間は教育は独自の固有領域をもちながら相互に参透し合う重要さ」を熟語す。特に公平に見ても最も鋭い学習態度は本県勢が模範であることにつけについて「いたすらに厳格主義は極端から喜んでいただけたと信義をとらず自制力をつけ終りを完うすることの重要」をとかれ新しい考えとして感銘。各講師それぞれ個性豊かな私語を聞かれ講義もそく全県人に配布、社会教育の広報活動に大い実績を残していることを喜びました。

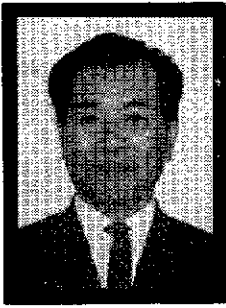
ホテル、ダイエーでの社会教育演習も無事終了し残す半月を目の

温顔いまやなし
ガンにたおれた大平先生

県視聴員フイラー中越山 教育庁社教課視聴員教育主任と
張所主任から県教育庁下越出張して活躍された大平博徳先生
所社教主任となり、昨年以來県生(48)がさる八月十日、ガ
ンのため長岡日赤病院に
くなられた。

昨秋病氣発病後、第一
回胃切開手術を受け、一
時小康をえよ本年二月か
ら六月下旬まで復職
され仕事を続けられてい
ます。

たが、六月下旬再び日赤病院に
入院、御家族に見守られながら
いつにもよる温顔をたた
え、誠実な人柄を愛されていた
人だけに惜しまれている。御遺
族は守坂町にレイ夫人、小山中
学校教諭の御長女以下四人の御
子息がある。心から哀悼の意を
表す。



前に私の社会教育に対する念願
ある。

「お互いに仲よくしよう。」
「お互いにもっともっと話し合いを
しよう。」というやさしい言葉が
が実行の困難なこの精神(ここ
ろ)を教育推進の平和の武器とし
て皆さんから努力してもらって
ます。

(上越教育事務所) (昭四〇、八
二記)

御寄稿待つ

本紙は、読者の皆さんの御苦心
の御寄稿を核として編集している
皆さんのための皆さんのもので
す。折にふれて御寄稿ください。
(編集部)

「愛の血液助け合い運動」はじまる

公民館でも協力してください。

国民医療上重要な分野を占めてこの運動を推進するにあたり各市
いる輸血に使用される血液は現在
町村公民館におかれましても地域
その大部分が買血方式による採血
によってまかなわれています。こ
れがため供血源の固定化及び供血
者貧血あるいは血清肝炎の発生等
が問題となっています。この現状
を広く一般国民に周知させ、献血
運動を実施要綱

昭和40年度「愛の血液助け合い
運動」実施要綱
期間 昭和40年9月1日〜9
月30日まで(一カ月間)
2、実施事項
(1)報道機関等に資料を提供して
取材報道依頼
(2)その他

良書紹介

加藤 重一 著
あすをつくる公民館

文部大臣表彰をうけてから十年 充実伸展の
一路をたどる優良公民館長の体験記録……

守田全国公民館連合会長：
世界に注目されているわが国の優良公民
館の実践を通じて組織づけられた理論
と、さらにその理論に系統づけられて生
まれた活動の裏の記録が、この著書とな
ったわけである。

私は全国の同志並びに公民館に関心をも
たれる方々にぜひ一読をおすすめしたい
と云う文は……

兵庫県加古川市若田町平津 加古川市米田公民館(加藤重一)宛
定価 二五〇円(送料三〇円)

宇佐川大阪学芸会学助教授：
転機期にあるわが国民館関係者にとつ
て本書はかまわずや前途に明るく希望と
夢を与え、公民館結核への意欲をかきた
てるにちがいない。「生きた教訓と生き
た理論の書」といふべきの本が、広く
多くの方々にと読まれることを祈つてやま
ません。

あとがき

甲府市で開かれた関公連大会、
本県から参加するが七名といふ
ので、いさか自身のせまの思
いを感じましたが、各県の発着内
容は底層で「また新潟県大会の
方が、教養上」とは小千谷市
の広川館長さんの感想でした。

この大会で唯一の収穫だった
のは、大宣言決議が、従来は
関係方面へ送付するのみに終っ
ていたものが、今回からは文
相、社会教育局長、など中央の
おもむきるところへは、役員が直
接出向いて手交することになっ
たことです。(本)